

令和5年度 第1回八雲町子ども・子育て会議 会議録（要旨）

- 開催日時 令和5年7月19日（火）18：30～20：00
- 開催場所 八雲町役場 第1・2会議室
- 出席委員 中田 拓希、仁木 実歩、斎藤 やす子、尾関 光広、
佐々木 達司、松本 貴子、羽二生 紀行、林 静香、伊藤 整志、
西田 浩人、小林 元彦、泉 祐子、佐藤 玲子、岩村 治子、
川岸 直樹、小栗 由美子
- 欠席委員 神原 拓哉、反町 潤平、植杉 僚、鈴木 亮平
- 事務局 住民生活課長、落部支所長、保健福祉課主幹、住民生活課長補佐、
住民サービス課長補佐、子育て支援係長、子ども発達支援係長、
児童係長
- 傍聴者 1名

1. 開会

委員総数20名中16名出席のため会議成立を報告。（傍聴者1名。）

2. 辞令交付

岩村町長より辞令交付

3. 町長挨拶

挨拶後、次の公務のため退席

4. 会長、副会長の選任

会長に西田委員（八雲町校長会）、副会長に小林委員（青少年健全育成推進協議会）の選任を確認。

5. 会長、副会長挨拶

6. 条例及び制度について

令和5年4月1日に条例改正となった八雲町子ども・子育て会議条例をもとに八雲町子ども子育て会議及び第2期八雲町子ども・子育て支援事業計画について説明。

7. 報告事項

（1）第2期八雲町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

【事務局より説明】

①教育・保育の状況について（資料1）

P1 保育所・幼稚園利用者数一覧

- ・利用定員数について、あかしや保育園の定員を変更したため 520 名。
- ・利用者数について、認可保育所の合計は、令和 4 年が 245 名に対し、令和 5 年は 220 名となり、25 名の減少となっている。認可外保育所については、令和 4 年が 58 名に対し、令和 5 年は 50 名となり、8 名の減少となっている。幼稚園については、令和 4 年が 71 名に対し、令和 5 年は 66 名となり、5 名の減少となっている。総合計では 38 名の減少となっており、利用児童数が減少している。出生数も少なくなっているため少子化による影響が大きいと思われる。

P 2 教育・保育の量の見込みや確保の内容と保育所・幼稚園利用者数実績の比較

- ・令和 4 年度の推計と実績を比べると、量の見込み推計の合計は 412 名に対し、実績 374 名となっており、38 名実績が少なくなっている。次に各施設の入所希望人数に対応させるために設定している確保の状況については、推計及び実績とともに全施設で受け入れできる定員を超えておらず、待機児童の発生はない状態となっている。

②地域子ども・子育て支援事業の状況について（資料 2）

P 3 地域子ども・子育て支援事業実施状況一覧

- ・利用者支援事業（P 3）について、令和 2 年度から子育て支援センターで基本型を、令和 3 年度からは、八雲・熊石地域に子ども・子育て世代包括支援センターを設置し、母子保健型を実施している。
- ・地域子育て支援拠点事業（P 3）について、子育て支援センターが事業を実施しており、令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、385 人の利用実績があった。
- ・妊婦健康診査事業（P 3）について、令和 4 年度は 935 人の利用実績であり必要な方への提供はできている。
- ・乳児家庭全戸訪問事業（P 3）について、令和 4 年度は 91 人の利用実績があり、こちらも必要な方への訪問は実施できている。
- ・養育支援訪問事業について（P 4）について、令和 4 年度は 68 人の利用実績があり、支援が必要な家庭に対して適切な支援を実施した。
- ・子育て短期支援事業（P 4）について、アンケート調査に基づく推計では当事業に対する若干のニーズがある状況だが、本町には児童福祉施設がなく、子育て短期支援事業を実施する体制を整備することが難しい状況にある。今後も必要とする方に対し、近隣市町村の子育て短期支援事業に関する情報提供を行っていく。
- ・子育て援助活動支援事業（P 4）について、アンケート調査に基づく推計では当事業に対する若干のニーズがある状況だが、本町では提供希望者がいないため、実施する体制を整備することが難しい状況にある。
- ・一時預かり事業（P 4）について、幼稚園型は、幼稚園や認定こども園で実施しており、令和 4 年度は 2,782 人の利用実績があった。一般型は、子育て支援センターで実施しており、令和 4 年度は 502 人の利用実績があった。

- ・延長保育事業（P5）について、令和4年度は19人の利用実績があった。
- ・病児保育事業（P5）について、量の見込みの推計では病児保育事業の利用ニーズが出ているが、当町の保育施設及び医療施設は、病児保育事業を行うための設備が整っておらず、必要となる医療体制及び人材の確保も困難な状況にある。
- ・放課後児童健全育成事業（P5）について、令和4年度は八雲地域で138人の利用実績があった。また、熊石地域と落部地域は、支援員の確保や児童数の減少により放課後児童健全育成事業としての実施は厳しい状況にあるが、熊石地域では、放課後子ども対策事業として「ふれあい交流センターくまいし館」に見守りスタッフを配置して、その中で体験プログラムなどの各種教室を実施している。落部地域では「落部レクリエーションセンター」の一般開放を行っている。
- ・実費徴収に係る補足給付を行う事業（P5）について、令和4年度の利用実績はなかったが、今後も実施していく。
- ・多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業（P5）について、令和4年度の実績はなかったが、今後、小規模保育や家庭的保育、居宅訪問型保育などの事業参入の相談があれば対応していく。

③子ども・子育て支援関連施策の状況について

【事務局より説明】

- ・子育て支援センターの事業概要及び令和4年度実績を報告（資料3）
- ・子ども発達支援センターの事業概要及び令和4年度実績を報告。また、療育講演会について案内（資料4・別紙チラシ）

【委員からの質疑】

- ・資料1の利用定員について、今後保育所等の利用実績が少なくなってくると思われるが、認可保育所、認可外保育所の定員変更について行政側としてどのように考えているか。

【事務局より説明】

- ・出生数も減少しているため、状況を勘案し検討していくこととなる。

【委員からの質疑】

- ・育ちと学びの応援ファイル『カラフル』について、実際に利用されている保護者からの意見はあるか。

【事務局より説明】

- ・利用している保護者からは進級や進学の際に利用していると聞いている。また、定期的に支援者（学校、保育所、幼稚園等）へアンケートを取り、利用の方法や改善などを確認している。

【委員からの質疑】

- ・カラフルを使っている延べ人数は、令和4年度の配布が11冊となっているが、前年度から活用している方を含めるともっと使っているということか。

【事務局より説明】

- ・継続して使っていただけることになるので、後日正確な人数はお示しする。
※平成26年度から活用を開始し、令和4年度末までの配布延べ人数は111人である。

【委員からの質疑】

- ・最初に配布された子どもたちは、現在社会に出始めた頃となる。実際に活用し、本当に活用されたのであればうれしいが、どのような状況だろうか。

【事務局より説明】

- ・昨年、一昨年に事業所などへ案内させていただき、カラフルを紹介した際に、初めて知ったという事業所等もありますので、使っているご本人の方と支援される事業者の方のつながりはまだ周知不足であった。大きくなっていくお子さんに関しての支援はこれからの課題となっていくと思われる。

(2) 第3期八雲町子ども・子育て支援事業計画について

【事務局より説明】

- ・資料5 次期計画についてのスケジュール案について説明。10月頃の第2回子ども子育て会議にて国の方針を示す頃ができる予定。

【委員からの質疑】 なし

8. その他

【委員からの質疑】

- ・この会議の開催時間は今後もこの時間帯なのか。

【事務局より説明】

- ・出席の委員の中に日中勤務されている方、保育園や幼稚園の事業者の代表者が出席となるため、この時間帯となる旨ご了解いただきたい。

9. 閉会